

受験番号 \_\_\_\_\_

2023 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科博士前期課程（修士課程）

秋季入学試験問題

## 第 1 部門

# 論 文 問 題

- ・ 試験開始の合図があるまでこの問題冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・ 一般受験者、外国人留学生受験者、社会人受験者ともに、(1) 論文問題 A 群の出題に、問題文に記されている指示に従って解答し、さらに (2) 論文問題 B 群 (01~12) に出題されている問題から 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 論文問題 A 群、論文問題 B 群につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
- ・ 論文問題 A 群への解答に際しては、問題文に記されている指示に従って、問いの番号(問い1、問い2、問い3)を「科目欄」の問題番号記入欄に記し、論述に使用する語群①②からそれぞれ2つずつ選んだキーワードを、解答の前の一行目に記すこと。  
(例：語群 ① = ××、□□、語群 ② = ○○、▲▲)
- ・ 論文問題 B 群への解答に際しては、解答用紙の科目欄に、選択した問題番号を記入すること (例:B01、B04 など)。
- ・ 解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・ 本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

## A群

問い 次の語群①②から、それぞれ単語を二つずつ選び、それら四つの単語すべてを論旨と密接にかかわるキーワードとして用い、下の問い1～3のいずれかに答えなさい。  
解答に際しては、どの問いと単語を選択したか、問題冊子表紙の指示に従って記すこと。

### 語群 ①

ミミズク 夜行列車 色とりどり つづれ織り

PDF 日記 芋づる 湯冷め 母語 じゃんけん

### 語群 ②

正当性 従属 降臨 制度化 地政学

スペクタクル化 弁証法 インスタント 徘徊 呪文

問い1 「更新する」とはどういうことか、論じなさい。

問い2 「主体となる」とはどういうことか、論じなさい。

問い3 「詩作する」とはどういうことか、論じなさい。

## B 群

01

という見解がある(\*)。この見解の妥当性について、具体例を示しつつ論じなさい。

(\*) かめいたかし「「こくご」とはいかなることばなりや」『国語と国文学』1970年10月、6頁)

- 02 ある集団の話すことばが、独立した「言語」であるか、他の言語の「方言」であるかは、どのような基準で決まると考えられるか。それを定義することの困難さと合わせて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。
- 03 中国近現代文学もしくは台湾文学のなかからある文学団体を取りあげ、文学史における位置づけについて論じなさい。
- 04 文学であれ絵画であれパフォーマンスであれ、テキストには物質の部分と意味の部分があるが、そのテキスト中の物質的特徴が意味をなさない(あるいは理解不能である)として看過されてしまうのはなぜか。翻ってこうしたノイズとしての物質性に関かれた読解をするための方法とその意義はどのようなものか。これらについて見解を記しなさい。
- 05 ドイツ語圏の文学・思想などの任意の言語作品(複数可)を取り上げ、下のテーマのうち一つを選んで論じなさい。その際、取り上げた例に即して選んだテーマについてなるべく具体的に論じること。
- ア) 語りの姿勢における実験的要素
  - イ) 人間の内面の自由と社会性
  - ウ) 自然科学の発展と宗教的理念
- 06 近代日本の女性文学について、具体的な事例を挙げ、考察しなさい。
- 07 小説における記憶の表象と語り的手法や構成との関わりについて、英語または日本語の作品を少なくとも二つ挙げながら論じなさい。
- 08 デイドロは『俳優に関する逆説』において、「凡庸な俳優を生み出すのは感受性であり、卓越した俳優のもとになるのは感受性の絶対的な欠如だ」と述べた。この主張の根拠を推察したうえで、自分の考えを論じなさい。
- 09 引用文を読んで、以下の二つの問いに、それぞれ番号をふって答えなさい。

(ジョナサン・カラー『文学と文学理論』)

① 「〔作品 vs テキストという〕非対称的な対立構図」について、その成立の背景や影響といったことがらにふれつつ、簡潔に説明しなさい。

② 上の引用文を参照しつつ、「テキスト」という概念をことさら使用することの効用を、具体的な作家・作品（複数可・使用言語不問）にそって論じなさい。

- 10 「近代科学は17世紀のヨーロッパで誕生した」と言われることがある。これはどのような意味で言われているのか、具体的な人物や事項に触れながら説明しなさい。
- 11 エルンスト・カッシーラーは「認識」の「目標」を「特殊的なものを一つの普遍的な法則と秩序の形式のうちにはめこむこと」と定義したあと、次のように言っている。

(『シンボル形式の哲学』生松敬三／木

田元訳)

ここで言われている「精神の根本機能」が文学あるいは芸術にも当てはまることを、作品を例に用いながら具体的に説明しなさい。

- 12 「音源から遠く離れ、直接聞き取れない環境で『その』音を聞く」という行為は、もちろんコロナ禍においてはじまったことではないが、音のそのような聴取が技術革新によって可能になったことによって人と音楽の関係はどのように変わったと考えられるか、具体的な根拠とともに論じなさい。